

令和2年度第1回学校評議員会記録

- 1 日時 令和2年6月23日(火) 10:30～12:00
- 2 場所 本校南講義室
- 3 出席者 学校評議員
井上 孝之 高瀬 哲敏 小宮山 晴夫 高村 光輝 以上4名
本校教職員
片岡 順一(校長) 佐々木 信明(副校長) 八重樫 寛昭(事務長)
坂牛 祐司(教務主任) 三浦 穰(生徒指導主事) 田代 徹(進路指導主事)
菊池 保貴(総務主任) 川村 興司(総務担当) 以上8名

4 内容

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 校長挨拶並びに学校経営計画説明

※自己紹介

(4) 学校概況説明

① 秩序有る生活態度の育成と安全教育の徹底および感染症予防対策

(学校評議員)

- ・四十四田ダム付近は通行が危険。学校でも通学路の様子を把握する方がよい。
- ・生徒の自転車走行について、時々「怖い」と感じることもある。スピードの出し過ぎ、歩道の走行、右側走行等がある。
- ・バス通学生の態度は良いと感じる。イヤフォンは、防犯対策上、注意が必要。今後も周囲への配慮を忘れないようにしてほしい。
- ・情報モラル教育の具体的な取り組みはどのようなことか。
→ 年1回の講話、継続的な指導、生徒会執行部からの発信。
- ・学校経営計画の中にある「安定した学校生活」の「安定」とはどういうことか。
→ 物事の実施に際し、突然予告したり実施するのではなく、先を見通して予告する。

② 主体的学習態度の育成と学力向上の推進および安定した授業の実施

(学校評議員)

- ・「自分の勉強」を目指す指導をしてほしい。
- ・これからの勉強方法は、自分で確立させることも大切。学校任せではなく、保護者にも発信し、「家で」の学習について考えさせてほしい。

③ 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善および新しい時代に対応した指導法の研究開発

(学校評議員)

- ・オンライン授業について生徒が戸惑わないように、どこかの場面で説明しておくことが必要だと思う。

④ 自己実現を見据えた進路指導の充実

(学校評議員)

- ・大学入試に関連し、ポートフォリオについては1年生から積極的に取り組むべき。
- ・進路志望達成率の目標が90%になっているが、なぜ100%ではないのか。
→ 合格しても浪人を選択する生徒もいるため、100%にはしなかった。

- ・昨年度の国公立大学前期の受験は厳しかったのか。
 - 前年度の成績が非常に良かったので、比べると厳しいように見えるが、例年並みの結果。推薦入試への対応を早めたり、全国の大学に広く目を向けさせるなど、対策していきたい。

⑤ 部活動の振興と生徒会活動等の活性化

⑥ 家庭・地域との連携と地域に開かれ信頼される学校作りの推進

⑦ 「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

(5) 意見聴取

- ・情報モラル教育は丁寧に行って欲しい。リテラシー指導が大切。
- ・交通安全について立派だと感じている。
- ・道路状況への対応は、学校から要望してもらおうと市でも対応の優先順位を上げられる可能性もある。
- ・朝にあいさつを返す生徒は半分ほど。もっと多くなるとよい。
- ・総合的な探究の時間で、盛岡北高から発信できることがあるのではないかと。地域と高校の結びつきを強く打ち出してほしい。
- ・学校ホームページは見やすくなったと思う。PTAの情報拡充をお願いしたい。
- ・夏場は、授業中の先生方の熱中症にも注意してほしい。

(6) その他

特になし

(7) 閉会